



松阪市
 ななめの関係を
 テーマに活動するパパ団体
ミエメン

推薦者 川端賢一さん
 (「ミエメン」メンバー)
育児対象 団体に参加するパパの子
 ども達+地域の子ども達



推薦文：ミエメンは、「忙しいパパでも、子ども達の豊かな成長のためにできること」を、実践を通じて学んでいるパパグループです。実践のテーマは「ナナメの関係」。「子ども達」と「親以外に、地域の中で教えてくれたり叱ってくれたりする大人」との関係、いわば「近所のおじちゃん」的な関係を「ナナメの関係」とし、その関係が豊かになることで、子ども達の成長や家族関係にどう影響をするのか、を研究しています。

取組内容は、定期的にメンバーの家族が集まり、メンバーが各自の特技を生かして、子ども達の成長につながり、思い出に残る企画を実施しています。例えば、大きい鯉のぼりがある家で「屋根より高い鯉のぼりを自分達で作ろう!」、段ボールを使って自分で鎧・剣・変身アイテムを作って「ミエメンヒーローごっこ」、メンバーの家庭菜園で「野菜の収穫体験」など。その際、パパはできるだけ我が子以外の子どもと関わるようにし、実施後は反省会を開催して、子ども達との関わり方や気付いたことを話し合い、その後の自分の子育てに活かしています。また、取組がパパ達の自己満足に終わらないよう、ママ達に「監視人」として参加してもらい、取組の間にはママにゆっくりお茶を飲んでもらう、そんな時間も設けています。

ミエメンは「互いの顔が見える」パパの関係だからこそ実践できる内容であり、幅広く参加者を公募する性質ではありませんが、ミエメン活動で得られたことを地域の「パパの育児参画」に貢献できれば、という思いから、広く参加者を募集するイベントも実施しています。例えば、「パパをイクメンに導くには」をママも子ども達も一緒にみんなで考える「家族参加型ワークショップ」の開催など。また、NPOや行政などが実施する各種セミナーに協力して、ミエメンで学んだことを生かした「キッズワークショップ」をセミナー参加者の子ども達を対象に実施するようになりました。

これからも、ミエメンのノウハウはドンドンと地域に提供し、自分達なりに男性育児参画が盛んになることに貢献したいと思えます。

審査員共感ポイント

- 実践のテーマ「ナナメの関係」を大事にしているところに注目したい。
- 子育てを楽しもうという姿勢や、自己満足で終わらせない、そんな思いでしっかりと活動しているところが良い。
- 父親だからできる遊びを教えたり、母親には思いつかないようなことを、団体で行っているところが良い。このつながりや手法を地域に提供して、この輪を広げてほしい。



多気町
 万協製薬株式会社
 代表取締役社長
 まつうらのぶお
松浦 信男さん

推薦者 檜垣紀安さん (同社社員)
育児対象 従業員の子ども



推薦文：

○ワーク・ライフ・バランス活動への積極的な取り組み

さまざまな取り組みは、「どうすれば社員が会社の仕事に楽しく取り組めるか」のため。そのためには、「仕事」と「休み」がバランスよく取れることが必要であることから、従業員がやりがいを持って働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの制度を充実させている。

- ・育児休業は最長3年まで取得可能で、復帰後は子が就学前まで1日3時間まで短縮することができる育児短時間勤務制度を設けており勤務形態にかかわらず、利用実績がある
- ・育児休業は下記掲載と同じ、育児短時間勤務は現在までで5名が利用、現在は4名利用中(正社員2名、契約社員2名)
- ・H26年4月より育児短時間勤務制度の期間を子が小学校卒業までに延ばし、家族手当の支給範囲(税法上の扶養親族から健康保険上での扶養親族へ)をも広げた。
- 男性の育児参画の取組み(男女にかかわらず育児休業が取りやすい職場環境づくり)
- ・H21～現在、女性は出産者5名中5名が育児休業を取得し、男性も1名(H22年4月～H23年1月の10か月)が取得している。(女性5名中3名が第一子、第二子の2度の取得実績があります。)復帰後には、会社内で育児休業について発表し、男性の育休取得への理解を深めるように取り組んでいる。
- ・育児短時間勤務についても、妻の産後の回復していない時期に、男性職員が幼稚園の送迎に利用(H23年7月の2週間)。その体験を三重県の男女共同参画フォーラムで紹介した。
- ・配偶者出産時休暇(3日間有給)の取得率は、対象者14名中14名が取得(H21年～現在)
- ・アンケート実施、管理職、全社員研修の実施等により、取得しやすい職場環境づくりに努めている。

審査員共感ポイント

- ここまで考えてくれる会社はない!と皆口をそろえて話していた。
- 社員のためにさまざまな取り組みを行い、制度だけでなく、風土づくりもしっかりと行っているところがすごい!
- 育児休暇を取りやすくなるよう会社が取り組んでくれているところがありがたい。